

# 水シンポジウムのミッション

- ◆水が自然や人に与えるさまざまな恩恵と水の諸問題を共有する
- ◆水と人，文化，こころ，くらしを通じて，  
水との結びつきの大切さを再認識する
- ◆水の問題を，市民，企業，行政，学に関わる人々が  
共同で考え，連携して取り組んでいく
- ◆水と人との好ましい関係を社会に発信する

# 「しが」の取り組み

- ・平成26年度・「**滋賀県流域治水の推進に関する条例**」

“河川整備で洪水を安全に”**ながす**

“流域で降雨を”**ためる**

“地域づくりで”**そなえる**

“土地利用, 住まい方で被害を最小限に”**とどめる**

- ・平成29年度・「**琵琶湖の保全再生に関する計画**」

水質保全から琵琶湖生態系の保全再生

**森, 川, 里, 湖のつながりや人の暮らしと湖とのつながりの再生**

# 特別講演・基調講演

「しのび寄る地球温暖化影響と  
それへの適応とは？」

「滋賀県発、持続可能社会への挑戦  
- 科学と政策をつなぐ -」

# 「しのび寄る地球温暖化影響と それへの適応とは？」

気候変動の影響で災害外力の巨大化

災害の形態が変わる

流域の姿が変わる

これを科学的に予測すること

人々がどう適応していくのか

「後悔しない早めの計画的な対応」

# 「滋賀県発、持続可能社会への挑戦 - 科学と政策をつなぐ -」

科学と政策をつなぐ

環境対策から社会変革へ

防止から適応社会へ

地域の人と人のつながり      地域の自然と人のつながり

市民が主体の先進的な取り組み(東近江市)  
(コミュニティー, 医療福祉, 教育・子供, 産業,  
自然のかかわり)

# 市民団体からの発表

「近江八幡市馬淵小学校の総合学習」

「琵琶湖体験学習」

市民団体の実践があって成り立つ

# 分科会での議論

## 第1分科会

「滋賀から発信するしなやかで強靱な  
流域治水のあり方」

## 第2分科会

「水辺を活かしたまちづくりと  
環境保全の相乗効果」

# 第1分科会 キーワード

しなやかで強靱な流域治水

滋賀の流域治水＝しなやかで強靱(レジリエンス)

○気候変動による豪雨外力の増大  
想定外の災害に備える新たな工夫

○都市政策/立地適正化計画における災害リスクの反映  
都市計画と河川の連携  
誘導レベル: 土地利用規制 ← 立地適正化計画  
災害リスクと居住誘導区域設定

水害リスクを踏まえた都市計画

住民と計画策定者の双方が理解しやすい災害リスクの提示

まちづくり＝ひとづくり 「まちづくり」に加えて「まち育て」

次世代のための防災教育 災害リスクの提示から正確な理解へ



○近年の水災害を読み解く

川の外の対策が不可欠な時代（流域治水条）

災害リスクを「防ぐ」、「減らす」だけでなく「免れる」

○研究機関とメディア連携による防災教育推進

避難行動に結びつけるために HMを理解し 避難行動に結びつけるための取り組み

地域メディアが持つ資産と研究機関の知見を活した  
(防災)コンテンツ

「滋賀でも水害が起こりうる」ことを伝えるコンテンツ開発シリーズ「河川防災ファイル」

研究機関とメディア連携による防災教育推進モデルの  
開発と実践

## ○流域治水

川の中の対策だけではなく、

「ためる」「とどめる」「そなえる」対策(川の外の対策)  
を総合的に実施

地先の安全度マップ

滋賀県防災情報マップ

地域防災リーダー

○浸水想定区域における土地利用規制の取組

○東近江市葛巻自治会

「ひとの生命を守る町づくり防災の葛巻町」

防災まちづくり「連携」「情報共有」「継続」

水害の経験と先人の知恵を伝承

楽しみながら防災 →防災を通じて顔の見える関係  
づくり

## 第2分科会 キーワード

研究者・民間会社・行政関係者の連携

琵琶湖が有する多面的価値と現状の課題を再認識し、  
人と川・湖との関わり方について考え、次世代により良い琵琶湖を引き継ぐ

○市民・企業・行政・専門家

家棟川(やむねがわ)のビワマスの保全活動とまちづくり

生息環境保全・再生(産卵床, 協働の, 手作り感のある魚道)

森・川・里・湖

保全活動とまちづくり

「環境的自叙伝」で描かれた絵

人がつながる 人が育つ そして、原風景をつくる

○水空間デザイン なぎさのテラス 湖岸デザイン

水をみつめなおす

水辺の賑わい からのまちづくり

○ほたる パーク&ウォーク

環境保全とまちなか探検(まちなか観光), 地域の人々の生活を見る・感じる

## ○琵琶湖の多面的な価値

先人からの現代へ

地域資源の価値を見出し、経済の循環を産み、持続可能な地域社会のシステムをつくる

環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築

マーザーレイクフォーラム

## ○都市・地域再生等利用区域の指定 かわまち支援制度

資源、知恵を活かし、人々の連携のもとに、水辺とまちをつなげる

# 水シンポジウム“しが”からの発信

## まとめ(提言)



- 川の中だけでなく、川の外の水害対策とまちづくり治水(流域治水)の推進
- 森・川・里・湖での生態系のつながりを再生
- 地域資源の価値・人・まちの循環の大切さ
- 民・産・官・学をつながり(連携)
- 水辺・人・くらしの流域つながりを再生

マザーレイクから、  
流域全体で「こころがつながる」治水・利水・環境保全・賑わいのあるまちづくりを推進します。